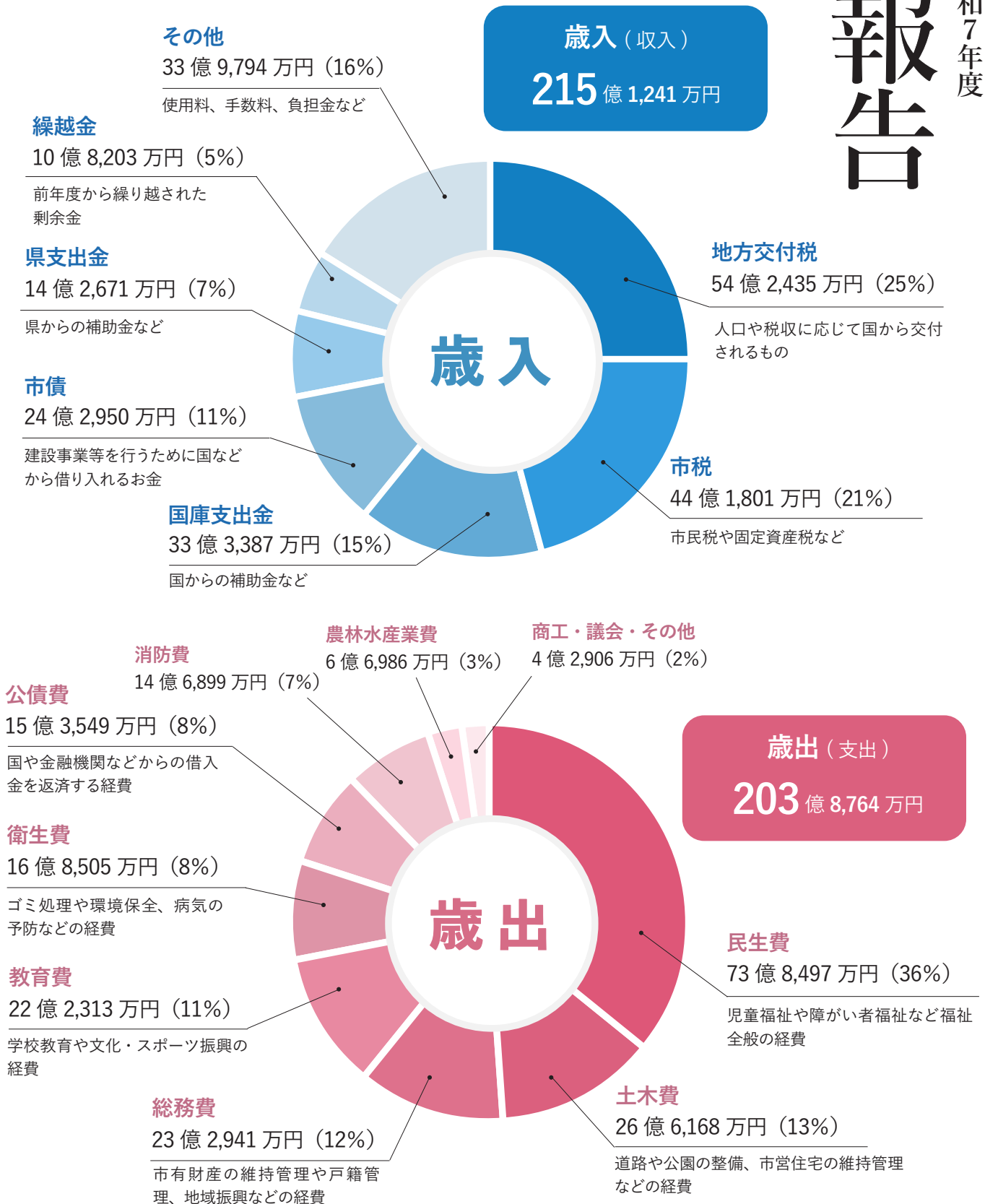


決算報告

一般会計の令和7年度決算は、前年度比で歳入は約2億5,489万円、歳出は2億1,215万円増加しました。歳入では、定額減税終了の影響などによる市税の増加（前年度比6.3%）により、全体で1.2%の増となりました。歳出では、避難所整備強化事業などによる消防費の増加（前年度比53.3%）により、歳出決算額は全体で1.1%の増となりました。また、歳入と歳出の実質的な差額を表わす実質収支は、9億1,165万円の黒字となりました。



令和 7 年度主な事業



7億
6,574
万円

避難所整備強化事業

小学校 3 校に飲料水兼用の貯水槽を設置するなど、災害に強い安心安全のまちづくりに取り組みました。



4,550
万円

消防車両整備事業

高規格救急車の更新など、消防車両を整備しました。



1,027
万円

アートヴィレッジ とうおん創生事業

とうおんアートヴィレッジフェスティバルを開催するなど、アートのまちづくりに取り組みました。



4,465
万円

窓口 DX 推進事業

庁舎 1 階に書かないワンストップ窓口を導入しました。

特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	35 億 5,474 万円	33 億 6,682 万円	1 億 8,792 万円
後期高齢者医療	6 億 4,265 万円	5 億 9,669 万円	4,596 万円
介護保険	47 億 4,344 万円	41 億 6,975 万円	5 億 7,369 万円
吉久工業団地	3 億 4,963 万円	3 億 4,963 万円	0 円

企業会計の決算状況

区分		収入	支出	差引額
水道事業	収益的収支	8 億 7,100 万円	9 億 4,725 万円	△ 7,625 万円
	資本的収支	5 億 7,902 万円	8 億 3,830 万円	△ 2 億 5,928 万円
下水道事業	収益的収支	11 億 5,727 万円	9 億 4,769 万円	2 億 958 万円
	資本的収支	5 億 3,637 万円	6 億 7,685 万円	△ 1 億 4,048 万円

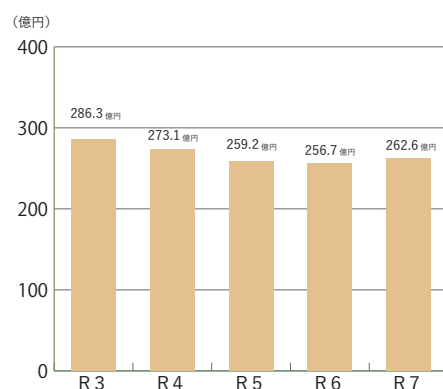
※万円単位で四捨五入しているため、決算書と金額が相違する場合があります。

まちの家計簿

令和 7 年度一般会計決算を月収 30 万円の家計に例えました。

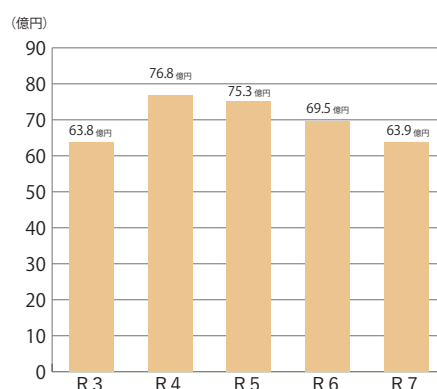
収 入		支 出	
親からの仕送り	163,100 円	医療、教育費、保険料	89,400 円
地方交付税、	(55%)	扶助費や補助費など	(31%)
国県支出金など		食費	54,000 円
前月からの持ち越し	15,100 円	給与、報酬など人件費	(19%)
繰越金	(5%)	家の修繕	55,300 円
預金の取り崩し	14,800 円	普通建設事業費、	(19%)
繰入金	(5%)	維持補修費など	
給与	73,100 円	光熱水費、電話代	41,300 円
市税、使用料、	(24%)	消耗品など物件費	(15%)
諸収入など		ローンの返済	21,400 円
ローンの借り入れ	33,900 円	公債費	(8%)
市債	(11%)	子どもへの仕送り	15,900 円
		特別会計への繰出金	(6%)
		預金	7,000 円
		積立金	(2%)
		翌月への持ち越し	15,700 円
		繰越金	

全会計の市債残高



市債は、家計に置き換えると、借金に当たるものです。令和 7 年度末現在高は 262 億 5,527 万円で、前年度末から 5 億 8,339 万円増加しています。

全会計の基金残高



基金は、家計に置き換えると、預金に当たるものです。令和 7 年度末現在高は 63 億 9,150 万円で、前年度末から 5 億 6,296 万円減少しています。